

店舗工事区分表(区画番号8 福大前駅)

資料2-1

項目	工事区分 負担区分 設計施工 財産帰属		A工事	B工事	C工事	備考
			福岡市交通局 福岡市交通局 福岡市交通局	店舗 店舗 福岡市交通局	店舗 店舗 店舗	
建 築	1	床	(既設) ・モルタル下地300角磁 器質タイル	・なし	・新設床に係る全工事	・防水処理の工程種別はゴムアスファルト系塗膜防水のY-2とする(公共建築改修 工事標準仕様書(建築工事編)「ゴムアスファルト系塗膜防水(屋内防水用)」参照) ・排水管路用のシンダーはつり部も防水すること
	2	壁	(既設) ・せっき質大版タイル張 り	・なし	・新設壁に係る全工事	・区画壁は一時間耐火の壁を躯体まで立ち上げること ・既存二重壁は湧水の排水経路となっているため、排水経路に係る間仕切り壁の 下部は塞がないこと
	3	天井	(既設) ・コンクリート	・なし	・新設天井(下地共)仕上げ にかかる全工事(防火シャッ ター用点検口設置含む)	・他設備の維持管理に必要な点検口を設置すること。
	4	金属製建 具	・なし	・なし	・新設建具に係る全工事	・開口部へは特定防火設備を設置すること
	5	その他	・なし	・なし	・既存との取り合いに係る全 工事	・店舗の仕様等については、交通局と協議の上、承諾を得ること ・店舗内禁煙とする

## ※注意事項

- ・店舗内の壁及び天井は、下地材及び仕上げとも不燃材料としてください。
- ・床材料については、できる限り燃えにくい材料を使用してください。
- ・店舗内の什器等は、努めて不燃性のものを使用してください。
- ・カーテン、絨毯等は、防災物品を使用してください。防災表示を必ず取り付けてください。
- ・開口部へ防火シャッターを設置し、開店中、常時開放する場合は地下鉄利用者の通行を妨げないよう必要に応じて柵を設けてください。

店舗工事区分表(区画番号8 福大前駅)

資料2-2

項目	工事区分 負担区分 設計施工 財産帰属	A工事 福岡市交通局 福岡市交通局 福岡市交通局	B工事 店舗 店舗 福岡市交通局	C工事 店舗 店舗 店舗	備考
空調換気設備	1	空調設備	・なし	・なし	・店舗の空調設備に係る全工事 ・室外機設置場所は交通局との協議により決定すること
	2	給気設備	(既設) ・給気ダクトあり	・なし	・店舗の給気設備に係る全工事 ・給気はコンコースよりとること ・区画貫通の必要がある場合は防火ダンパー(FD)を設置すること
	3	排気設備	(既設) ・排気ダクトあり	・なし	・店舗の排気設備に係る全工事 ・に oily や油脂がない排気(一般排気)の場合、コンコースへ排気可 ・油脂を含む排気(厨房設備用排気)は基本的に循環換気方式もしくは単独で排気を設けること ・区画貫通の必要がある場合は防火ダンパー(FD)を設置すること
給排水設備	4	給水設備	・なし	・なし	・店舗の給水設備に係る全工事 ・店舗内に量水器の設置(検定付) ・区画隣室給水管15Aより分岐すること ・市水道局指定給水装置工事事業者にて施工すること ・給水装置工事届出書、給水装置工事設計閲覧申込書及び給水工事完了届を着手前に提出し、完了後は確認印押印済みの給水装置改造工事届出書を提出すること ・毎月報告義務があるため、店舗従業員が目視しやすい位置に設置すること。
	5	排水設備	・なし	・なし	・区画隣室排水管40Aへ接続すること ・福岡市道路下水道局排水設備指定工事店にて施工すること ・着工前に排水設備新設等計画確認申請書、排水設備新設等工事完了届出書、現地完了検査立会い委任状、現地完了検査希望日・代理人の有無・その他の申出事項届出書、を提出すること。工事完了時に確認印押印済みの排水設備新設等計画確認申請書の提出を行うこと ・油脂を含む排水を行う場合はグリストラップを設置すること ・トイレ設置不可

※注意事項

- ・空調・換気設備は事業者で設置していただきます。また、これらは地下鉄の自動制御(火報連動停止、排煙ダンパー制御等)に取り組む必要があるため、計装設備工事(業者指定有)が必要となります。
- ・厨房設備の設置においては、福岡市火災予防条例第3条の4の規定に適合する必要があります。



店舗工事区分表(区画番号8 福大前駅)

資料2-4

項目	工事区分 負担区分 設計施工 財産帰属	A工事 福岡市交通局 福岡市交通局 福岡市交通局	B工事 店舗 店舗 福岡市交通局	C工事 店舗 店舗 店舗	備考
電 気	1	天井照明	・なし	・なし	・照明設備全工事
	2	コンセント	・なし	・なし	・コンセント設備全工事
	3	幹線・分 電盤(動力・電灯)	(既設) ・幹線ケーブル(3相3線 440V 76kVA)	・なし	・変圧設備及び、分電盤の含む全工事 ・設置する変圧設備が20kWを超える場合は福岡市火災予防条例第11条の規定によること ・店舗区画内に設置すること
	4	電力量計	・なし	・なし	・電力量計の設置は、変圧設備の一次側に設置すること ・店舗区画内に設置すること ・毎月報告義務があるため、店舗従業員が目視しやすい位置に設置すること。
	5	電話・情報配線設備	・なし	・なし	・電話・情報配線設備全工事(開通手続き含む) ・天井内の配線用配管で防火区画貫通部以外はPF管とする ・区画内残置の回線流用可
	6	テレビ共同受信設備	・なし	・なし	・テレビ共同受信設備全工事 ・天井内の配線用配管で防火区画貫通部以外はPF管とする
<p>※注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・店舗の防火区画にかかるものにおいては法令に準じた工法で防火区画の貫通処理を行ってください。</li> <li>・必要に応じて事業者が変圧設備を設ける等改修を行い、分電盤から電力負荷へ電源供給を行ってください。</li> <li>・使用する材料については、安全が担保された製品を使用し、漏電に対する保護を行ってください。ケーブルはエコケーブル、変圧器はモールドタイプを使用してください。ただし、やむを得ない場合は交通局の指示に従ってください。</li> </ul>					